

授業科目 精神保健学

【担当教員名】 渡邊良弘		対象学年 2	対象学科 社会		
		開講時期 前期	選択	選択	
		単位数 4	時間数 60		
【<概要>又は<一般目標：G I O>】 精神保健の基礎概念について理解し、心身の発達、および社会と病者の関係を知る。家庭・学校・職場・地域の精神保健の取り組みについて、常識的な判断と関連づけることができる。					
【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】 1) 精神保健の基礎概念、意義と課題を知る 2) ライフサイクルからみた精神保健について認識を得る 3) 個別領域における精神保健の課題について学ぶ 4) 地域における精神保健の概要と施策について学ぶ 5) 諸外国の精神保健とわが国の精神保健を比較することができる					
回数	授業計画又は学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員		
1	精神保健とは	1	講義 金曜日の連続2コマを		
2	ライフサイクルからみた精神保健 出生から学童期	2	講義 用いて講義を行う		
3	ライフサイクルからみた精神保健 学童期から青年期	2	講義		
4	ライフサイクルからみた精神保健 成人期から老年期	2	講義		
5	精神保健と課題 精神障害、認知症	3	講義		
6	精神の健康と課題 アルコール・薬物依存	3	講義		
7	精神の健康と課題 思春期、地域、終末期	3	講義		
8	こころのケアの実際 家庭、学校	3	講義		
9	こころのケアの実際 職場、地域	3	講義		
10	地域における精神保健 概要	4	講義		
11	地域における精神保健 施策と法規	4	講義		
12	諸外国における精神保健	5	講義		
13	精神保健の今後		講義		
14	まとめ		講義		
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書		精神保健学	日本精神保健福祉士養成校協会編	中央法規出版	2007年 2625円
参考書		1) 心の地図<上><下>	市橋秀夫	星和書店	1997年 3990円
		2) 精神科における予診・初診・初期治療	笠原嘉	星和書店	2007年 2100円
その他の資料		プリントを配布する。			
【評価方法】 出席状況、講義参加の積極性、 期末テスト			【履修上の留意点】 教科書・配布プリントの音読・質問・意見を述べる積極性が期待される		